

7-3 生産性向上推進特別本部

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

協会をあげて取り組むべき課題に対する包括的活動を目的として「生産性向上推進特別本部」を新設した。

活動目標は、会員企業へのBIM/CIMの普及・促進及びi-Construction全般に関する諸活動とし、活動計画の実施は技術部会内に新設した「生産性向上WG」が担当した。

国土交通省は、2012年に建設業務の効率化を目的としたCIMの活用に向けた提言に始まり、現在では、建設事業全体の生産性向上を図る仕組みとしてi-Construction（建設生産性改革）を推進しており、併せて国際的な進展を見せるBIMを加え、Society 5.0における新たな社会資本整備を見据えた3次元データを基軸とする建設生産・管理システムを実現するためBIM/CIM（Building and Construction Information Modeling/Management）という概念において産官学一体となって再構築し、2025年には建設事業全体の生産性を20%向上させることを目標に掲げ、BIM/CIMの取り組みを強化している。

当協会においても3次元モデルによる情報マネジメントツールとしてのBIM/CIMを業務に活用するなど積極的な取り組みを推進する。

a) BIM/CIMにかかるとの対外活動及び協会内での情報共有

b) ICTの試行・導入支援

c) BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育、情報共有の促進

(2) BIM/CIM関連の対外活動推進

・国土交通省「BIM/CIM推進委員会」(R2. 2. 5)への参加と関連4WG（実施合計14回/年、3回[4Q]予定）への委員派遣により技術的課題解決のための検討を実施した。

・BIM/CIM事例の収集・分析と事例の共有では、コンプライアンスに配慮し、直接的な個別事

例の紹介を避け、国交省各地整等のHP掲載事例を共有した。

(3) BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育、情報共有の促進

・講習会の開催（ICT委員会の主催）による情報共有の促進

①CIMハンズオンセミナー 12回

②GIS講習会 36回

③ICTセミナー 9回 他

・各支部ICT担当との情報共有及び連携（随時実施：ICT委員会と共同）

(4) 生産性向上推進特別本部会議（R2. 3. 18）により、令和元年度WG活動状況及び次年度計画等を共有した。

(5) 各種団体（橋建協、測技協等）との意見交換を実施し、調査、設計、施工の各段階間でのデータ連携に関する課題等を共有した。

なお、以上の成果は、「地方ブロック意見交換会（要望と提案）」及び「未来塾」資料に反映している。

2. 次年度の活動

国土交通省と各種委員会等を通じて連携し、i-Constructionの推進及びBIM/CIM、Web会議システム等のICTの積極的な導入・活用検討及び情報共有を継続する。活動計画は次のとおりである。

・生産性向上WGとの情報共有（年度末）

・BIM/CIM推進委員会への参加及び関連WGへの委員派遣（随時）

・建設系関係諸団体等との意見交換（随時）

・BIM/CIM、ICTに関する会員企業の技術教育及び情報共有の促進（関連委員会の主催）

（生産性向上推進特別本部 本部長
高野 登）

（生産性向上推進特別本部 本部長
兼技術部会 生産性向上WG長
加藤 雅彦）